

# 4 「中俣正義・小林新一写真展 ×2<sup>2</sup>」

〈キュレーション：甲斐義明・木村一貫〉

新潟市歴史博物館みなとぴあとの連携による、新潟を代表する写真家である中俣正義と、その盟友であった写真家小林新一の2人の写真のコラボレーションです。仲俣・小林2人の視線が見つけた「にいがた」の現実とは何か、みなとぴあ学芸員の木村、写真研究者の甲斐、2人のキュレーションでせまります。



中俣正義



小林新一

11月30日(土)より12月16日(月) 10時~19時

新潟大学駅南キャンパス ときめいと・多目的スペース  
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク2階  
TEL 025-248-8141

# 5 「村の肖像I・展」

〈キュレーション：榎本千賀子〉

新潟県と福島県の県境、奥只見の村で、1952年以降、村の人びとを撮り続けた角田勝之助。角田の写真の紹介の第1回目として、昭和20年代の写真を展示します。

12月4日(水)より12月15日(日)  
10時~16時30分

新潟大学旭町学術資料展示館  
新潟市中央区旭町通2番町746  
TEL・FAX 025-227-2260



中俣正義

2013 にいがた 地域映像アーカイブ・タイムチケット



新潟大学地域映像アーカイブセンターでは  
2013年11月~12月にかけて新潟市内5ヶ所の展示施設で連携して  
学ぶ機会を創造し 過去から未来へ無限に進化する  
写真・映像メディアの展覧会を開催します

新潟県立生涯学習推進センター 砂丘館  
新潟日報情報館 新潟大学駅南キャンパスときめいと  
新潟大学旭町学術資料展示館で 同時多発的な展覧会です

映像は、記録として、あるいは現代アートの一角として、また多様な表現手段として、アマチュア、セミプロ、プロを問わず膨大な作品を生み出しつつあるメディアです。今回の5ヶ所の展示は、写真誕生以来、映像によって解析可能な歴史を未来へ向かってより良い方向へ解放していくプロセスとして、ひとつの可能性を創り出そうという試みです。さらには、地域にあるアーカイブとアーカイブとを結び、連鎖した地域の映像アーカイブスを展開し、保存された貴重な写真や、動画を展示することによって新たな社会的な文脈へと置いていく作業でもあります。未来を写したコミユナルな映像の貴重なひとこまを、新たに新潟から発信します。

主催：新潟大学人文学部 新潟県立生涯学習推進センター 新潟日报社  
砂丘館 新潟市歴史博物館みなとぴあ  
協力：新潟フジカラー 協賛：株式会社ピクトリコ  
企画・製作：新潟大学地域映像アーカイブセンター  
総合プロデューサー：原田健一・石井仁志

各会場入場無料



# 1 「地域の肖像—県観光課の映画と中俣正義」

中俣正義が制作した県観光課の映画からセレクションし、2回にわたって上映を行います。  
 第1回は、その映画の魅力、そしてその背景について講演を行います。  
 第2回は、谷川岳の登山道を聞き、生涯を山に生きた高波吾策について、出演した映画を見ながら話を聞きます。

11月9日(土) 13時30分～15時

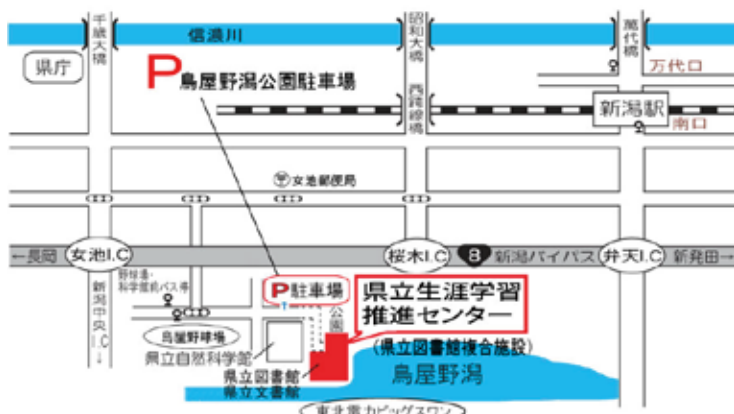
「中俣正義における写真と映画」  
 講師・石田美紀(新潟大学)  
 『春の白馬岳』1952年 16分  
 『秘境奥只見』1961年 28分



『秘境奥只見』 『銀嶺を行く』

12月1日(日) 13時30分～15時

「高波吾策と県観光映画」  
 話・高波菊男 聞き手・石田美紀  
 『銀嶺を行く(上越国境)』1953年 16分  
 『上越の山々』1953年 24分



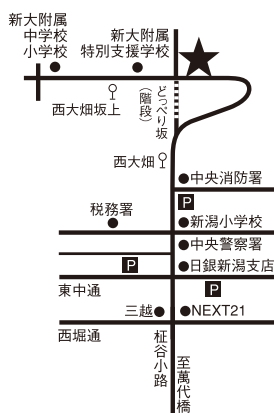
新潟県立生涯学習推進センター・ホール  
 新潟市中央区女池南 3-1-2  
 TEL 025-284-6110

# 2 砂丘館企画展「内野雅文写真展—とどまらぬ長き旅の…」

〈キュレーション：石井仁志・大倉宏〉  
 あるく、アルク、歩く。とる、トル、撮る。いつも写真の王道をあゆんでいた内野雅文。  
 今でもあの笑顔が…ひょいと現れ写真を撒き散らし、近作です。の音が響いてくる。  
 34歳で惜しくも亡くなった写真家、内野雅文の展覧会。

11月19日(火)より12月15日(日)  
 9時～21時

ギャラリートーク：12月7日(土) 14時～  
 石井仁志(写真評論家)  
 甲斐義明(新潟大学) 他



砂丘館

砂丘館  
 新潟市中央区西大畑町 5218-1  
 TEL 025-222-2676



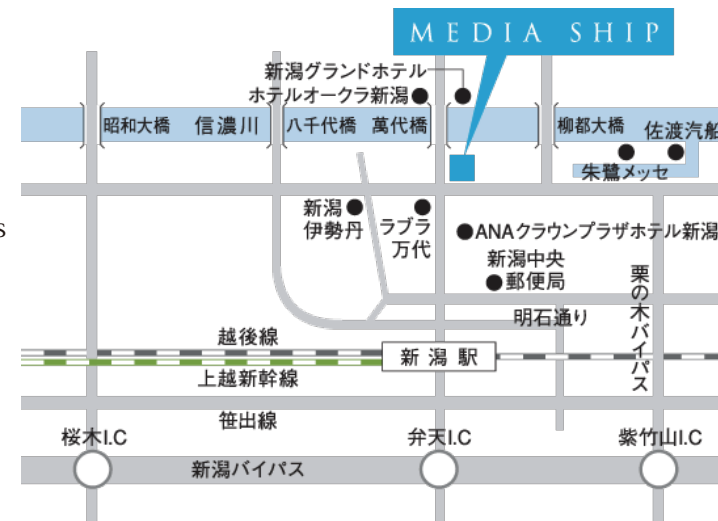
# 3 「新潟地震・記録と記憶—新潟日報、中俣正義、小林新一が写したものとは何か」

〈キュレーション：石井仁志・原田健一〉  
 新潟日報情報館 COMPASS と連携し、新潟地震をめぐって、新潟日报社の写真、新潟市歴史博物館みなとびあ所蔵の小林新一の写真、地域映像アーカイブの中俣正義の映像とのコラボレーションによる展示を行います。  
 さらには、映画『新潟地震』(新潟日报社)、『校舎よさようなら』(新潟市視聴覚ライブラリー) も上映します。  
 プリント、デジタル映像などの組み合わせによる、さまざまな立場から撮影された映像による、新潟の時代、歴史を辿る展示です。

11月23日(土)より12月1日(日) 8時～23時  
 新潟日報メディアシップ 20階 360°展望回廊

11月23日(土)より12月8日(日) 10時～18時  
 新潟日報メディアシップ 1階 新潟日報情報館 compass

新潟日報情報館 COMPASS  
 新潟市中央区万代 3-1-1  
 TEL 025-385-7175



小林新一



新潟日報

## 『懐かしさは未来とともにやってくる—地域映像アーカイブの理論と実際』出版記念・シンポジウム「地域、映像アーカイブ、その親密性とは何か」

「懐かしさは未来とともにやってくる—地域映像アーカイブの理論と実際」の出版を機に、地域の各機関連携による公開のもつ可能性について、さまざまな立場の参加者が集い議論します。

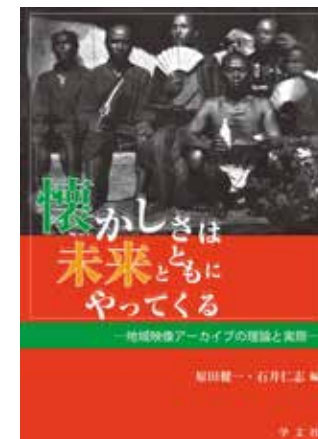
11月30日(土) 14時～17時30分 新潟日報メディアシップ 4F 講座室

講演

- 「コミユナルなアーカイブと地域メディア」 北村順生(新潟大学)
- 「新潟日報におけるアーカイブの試み」 野崎孝則(新潟日报社)
- 「東日本大震災の記憶と伝承」 神田より子(敬和学園)
- 「寫ノ瀆ノ瀆—アーカイヴと流体」 武村知子(一橋大学)

シンポジウム

- 司会：北村順生
- パネラー：原田健一、野崎孝則、神田より子、武村知子、榎本千賀子(新潟大学)、甲斐義明



学文社刊

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

新潟日産自動車株式会社

あられ株式会社

NSGグループ

株式会社ナレッジライブ

新潟ビルサービス

丸屋本店

郷土の文化に親しむ会